

## コトノハアキギリの帰化

ふじのくに地球環境史ミュージアム 准教授

早川 宗志

著者はここ数年の間に、伊豆半島の下田港からフェリーに乗って伊豆諸島の新島に赴き、現地調査をしてきた。それは、現地協力者からの情報提供を受け、2つの種名がわからない植物に興味を持っていたからである。そのうちの1つは、日本新産となる食虫植物 *Drosera hookeri* であったことから新称ワカクサイシモチソウを提唱することになった（早川ら 2024a）。そして、もう1つが本稿で紹介する外来植物のコトノハアキギリ *Salvia lyrata* である（図-1）。

シソ科のコトノハアキギリは、アメリカ合衆国東部が原産の多年生のハーブの一種である。日本国内ではサルビア・リラータなどの名称で、葉が濃紫色や赤紫色の複数品種が園芸的に利用されている（山本 2017）。

当初、現地協力者から「新島に生育する不明植物の名前を教えてください」と連絡があった。LINE で送られてきた植物写真から、シソ科の形態的特徴である唇形の花冠や茎が四角形である点などが見てとれた。しかし、図鑑に掲載されているシソ科植物を見ても形態的に一致する植物種は無かった。



図-1 新島に帰化したコトノハアキギリ  
(2023年4月29日、濱地秀徳撮影)

そのため、在来種ではなく、外来種であることも判明した。しかし、国内の主要な帰化植物図鑑等には本種が掲載されていなかった。さらに、『Flora of North America』など、近年の海外の主要な植物図鑑においてもシソ科アキギリ属が刊行されていなかったことから、形態的な記述を確認することができなかった。

新島から本種のさく葉標本も送ってもらったものの、シソ科アキギリ属は世界に約900 (-1100)種が存在するため、種同定に苦慮していた。そうこうしながらネット検索しているうちに、園芸種のサルビア・リラータと形態的に同一であることに気が付いた。栽植されているサルビア・リラータも実見することができ、不明植物の解剖写真（図-2）や古い文献の記述からも、本種であることが判明した。和名がまだ提唱されていないことから、サルビア・リラータの英名 lyre-leaf sage に因み、コトノハアキギリ（琴之葉秋桐）として報告した（早川ら 2024b）。

実は当初、主要な図鑑などにおいてコトノハアキギリの国内帰化の情報が無かったことから、日本新帰化と考えていた。しかし、投稿論文において査読者から園芸書の記述を参照するようコメントをいただいた。調べてみたところ、サルビア・リラータは「こぼれダネで殖え、適地では雑草化するので注意が必要」との記述があった（山本 2017）。そのため、これまでのコトノハアキギリの雑草化は極初期もしくは花壇周辺に限られていたものと思われるが、投稿論文から“日本新帰化”の文言は控えることにした。

コトノハアキギリは、新島において4月末から7月上旬に開花した。初確認した2018年以降、毎年、宮塚山林道において確認している。生育場所は路面の舗装がなされていない林道の砂利周辺の日当たりのいい場所に限定されており、林内への侵入は確認できていない。今後は本種が他地域においても発見される可能性があることから、注意が必要である。

最後になってしまったが、コトノハアキギリの形態的特徴は、以下の通りである。

花は淡青紫色～白色で、輪散花序をつくり、萼は唇形で上

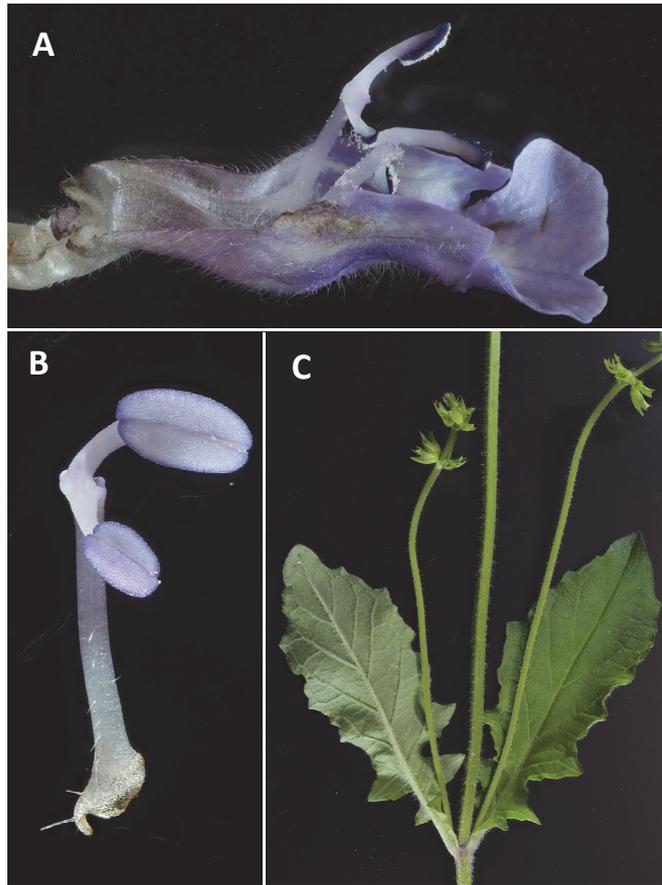


図-2 コトノハアキギリの解剖写真(2022年5月3日, 石橋正行撮影)。  
A: 花冠(上唇を除外)。B: 雄蕊。C: 茎生葉。

唇は3歯があり、下唇は2裂している。花冠は唇形、下唇は3裂して中裂片は大きく、中裂片はさらに2裂している。日本産を含めた多くのアキギリ属は雄蕊の上端の半葯のみが稔性をもち、下端の半葯は退化して不稔であることが多い。それに対して、アキギリ属の *Lyratae* 節は下端にも花粉囊が存在する (Small 1933)。 *Lyratae* 節に属するコトノハアキギリは、花粉囊が葯隔の上端と下端の両方にあり、下端の方が小さいという特徴をもつ (Britton and Brown 1913)。また、種小名の *lyrata* は葉が頭大羽状裂という意味である。葉は対生、単葉で全縁もしくは深く切れ込む。根生葉は深裂する。葉や茎には毛が密生する。

## 謝 辞

本調査にご協力いただいた山本斗士江氏、濱地秀徳、石橋正行氏、高野温子氏に感謝します。

## 参考文献

- Britton N.L. and Brown H.A. 1913. An Illustrated Flora of the Northern United States, Canada and the British Possessions: from Newfoundland to the Parallel of the Southern Boundary of Virginia, and from the Atlantic Ocean Westward to the 102d Meridian. Pp. 128-131. C. Scribner's Sons, New York.
- 早川宗志ら 2024a. 日本新産のワカクサイシモチソウ (モウセンゴケ科). 植物地理・分類研究 72, 101-109.
- 早川宗志ら 2024b. 伊豆諸島新島に帰化したコトノハアキギリ *Salvia lyrata* (シソ科). 植物研究雑誌 99, 386-389.
- Small J.K. 1933. Manual of the Southeastern Flora: Being Descriptions of the Seed Plants Growing Naturally in Florida, Alabama, Mississippi, Eastern Louisiana, Tennessee, North Carolina, South Carolina and Georgia. The University of North Carolina Press, Chapel Hill.
- 山本規詔 2017. カラーリーフ図鑑—明度と高さの組み合わせで庭をグレードアップする. 講談社, 東京.